

# 都市計画マスタープラン策定に係る地区懇談会(富崎地区)

## — 第1回 懇談会要旨 —

### 1. 懇談会開催日時等

日時：平成20年1月28日(月) 13:30～15:00

場所：富崎地区公民館

市職：都市計画課4名

### 2. 懇談会次第

1) 開会

2) 都市計画課課長挨拶

3) 懇談テーマ、意見交換

①都市計画マスタープランとは

②館山市全体及び富崎地区の都市計画の現状

③まちづくりに関するアンケート結果の概要報告

④質疑、意見交換

4) その他

5) 閉会

### 3. 参加者

8名

### 4. 富崎地区から出された主な意見

○都市計画マスタープランへの要望

- ・古い都市計画道路は見直しを行うべき。市民の生活に必要で、観光立市につながるような道路を整備してほしい。

○地区の整備に関する要望

- ・特になし

○その他

- ・富崎地区は都市計画からは外れているが、今後も地元で説明に来てもらいたい。観光立市につながる事業であれば都市計画税についても納得する。

### 5. 議事要旨

#### 【資料説明】

①都市計画マスタープランとは

- ・都市計画マスタープランの役割や法的位置づけ等について説明。

②館山市全体及び富崎地区の都市計画の現状

- ・市全域及び富崎地区についての人口推移や土地利用現況等を説明。
- ・富崎地区は人口の減少率が著しいため、何らかの策を講じる必要があると考えていることを報告。

- ・以下の事項等をテーマとして都市計画マスタープランを策定すると報告。
  - 都市計画道路の新設・廃止を含めた見直し
  - 用途地域の拡大や変更等の見直し
  - 景観形成
  - 都市公園の新設等を含めた見直し
  - 中心市街地の空洞化

### ③まちづくりに関するアンケート結果の概要報告

- ・アンケートの結果より、以下の事項がまちづくりの方向性に挙げられると報告。
  - 誰もが住みやすい、安全・安心なまち
  - 自然や文化を活かした観光都市
  - 公園の整備

### 【質疑、意見交換】

以下、参加者から出た意見を“○”、事務局からの回答を“⇒”とする。

○都市計画税について、南房総市や鴨川市は課税しているのか  
⇒南房総市、鴨川市ともに課税していない。

○昭和44年に決定している都市計画道路のうち、7路線が未着手になっている理由は？  
⇒高度成長期時代に、住みやすいまちを目指すために決定したものと認識している。また、都市計画道路を1路線整備するには、数十億の費用がかかってしまうことや、10数年の歳月を必要とする。そのため未着手路線について、今後整備を着手していけるのかという点では、問題意識を持っている。よって、今回見直しをしようとするもの。

○都市計画道路船形川名線、那古正木線、船形館山港線、青柳大賀線について、整備をするのに、どのくらいの費用かかるのかの見通しを持っているのか？  
⇒例えば船形川名線に関しては、概算で30～40億円の費用がかかる見通し。

○青柳大賀線はなぜあのようなルートになっているのか？  
⇒国道127号から洲崎方面へ向かう際、市街地を通らずに向かうようにするためだと認識している。

○国道410号北条バイパスの道路標識が真倉あたりで『神戸』や『白浜』がなくて、『洲崎』となっている。この表示では、富崎に観光客が訪れない。直せないか。  
⇒以前にも同様の意見を頂いており、県に申し入れに行っている。道路標識に表示できる地名には決まりがあり、新たな表示は困難であるとのことだが、前向きに検討するという回答をもらっている。

○都市計画税が年間約5億円集められており、その内の約6割が下水道整備のために使用されていると聞いている。都市計画道路の整備の状況と都市計画税で集められている金額を考えると、今の都市計画道路に関して非常に疑問を感じており、早急に見直しが必要であると思う。

○市民の生活に必要であり、観光立市につながるようなものであれば良いのだが、昭和 44 年に決定された都市計画道路ではなく、見直しを行い、平成版の都市計画道路を出して欲しい。

⇒今後、皆様のご意見を伺いながら都市計画道路の見直しを行っていきたいと考えている。

○房総フラワーラインに接続する防災のための進入路の整備に関して、進捗はどのようになっているのか？

⇒予定している路線の周辺に保安林があり、その保安林の解除を行わなければならない。

現在、県に申請を行っているが、時間がかかってしまっている状況であると聞いている。

ただ、事業を行うということに関して変更はない。

○防災のための進入路の計画線上に、一部地権者のいる土地があると思うが。

⇒保安林の解除ができた後に、それら地権者に対する用地買収に入っていくことになると思われる。

○富崎地区も館山市の中の一地区として、今後とも住民説明会を行って行って欲しい。

⇒これからの行政には必要なことと認識している。例えその地区に関係のない事業に関しても、説明をしていきながら進めていかなければならないと考えている。